フランスとヨーロッパにおける移民について

多元的社会と多元的アイデンティティをめぐって

Les migrations en France et Europe. Sociétés plurielles, identités plurielles

Prof. Jean-Claude BEACCO

ジャン=クロード・ベアコ教授

日時 2014年10月23日(木)

講演 18:15~19:30

懇親会 19:40~20:40

場所 人環棟105会議室

講演者プロフィール

ジャン=クロード・ベアコ先生はソルボンヌ・ヌーヴェル・パリ第三大学言語学・ 言語文化教育学名誉教授であり、欧州評議会言語政策部門顧問。言語学博士及び 文法教授資格を有し、4年間B.E.L.C.(フランス語教育機関)の研究員として活躍。 イタリアにて言語学研究指導に従事した後、11年間メーヌ大学の教授を務める。 現在もフランス語教育の専門家として幅広く活躍している。

講演内容

今回の講演では、現在ヨーロッパの社会において議論の的となっている移民問題、特 に成人移民労働者に対する言語政策について言及する。移民増加の現象はますます 複雑化し、しばしば排斥運動も引き起こしているが、その反面、経済や人口学的観点 から見ても必要不可欠な存在である。他者との関わり合いの中で形成される社会にお いて、我々は今後この社会的問題とどう向き合うべきか。ベアコ氏のグローバルな活 動や経験を元に、グローバリゼーションによって刻々と変化する今日の移民問題の様

相に迫る。(講演はフランス語で行われ、日本語通訳が付きます。) 主催 人環国際交流委員会

問い合わせ 国際交流委員・留学アドバイザー 藤田: fujita.itoko.7c@kyoto-u.ac.jp